

認定農業者だより Next Step

日田版 令和5年 7月
大分県西部振興局 生産流通部
Tel : 0973-23-2217
Fax : 0973-23-3473
E-mail : a11610@pref.oita.lg.jp
記事へのご意見等をお寄せください

西部振興局 生産流通部長 着任のご挨拶



20年ぶりに新知事となり、5月15日付の人事異動で豊肥振興局生産流通部より赴任いたしました「川辺卓郎」と申します。

日田市の認定農業者の皆様方には、平素より農業振興にご尽力をいただき厚く御礼申し上げます。

この3年間、世の中の動きを一変させた新型コロナ感染症の影響も、分類が2型から5型に変更され対面での会合等も増えてきましたが、世界の大きなうねりによる燃料や農業資材の高騰は継続しており、農業を取り巻く厳しい情勢は継続しております。

また、人口減少も喫緊の大きな課題であり、対策の一つとして「仕事を作り、人を呼び込む」ことが求められています。そこで、これまで以上に「一次産業の維持・拡大」は地域を守るためにもとても重要な取組です。県といたしましても関係機関と連携し、地域資源を生かしながら人づくりを進めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

熱中症にご注意！

熱中症による死者は年によって増減はありますが、1,000人を超える年もあります。農作業中の熱中症による死者は直近10年間で259人と、農作業死亡事故全体の約1割を占めています。これから夏場にかけて熱中症発生のリスクが高くなりますので注意をしましょう。

●農作業中の熱中症対策・気をつけること

☑高温時の作業は避けましょう

一般的に70歳以上の方は、のどの渴きや気温の上昇を感じづらくなります。日中の気温の高い時間帯は外して作業しましょう。

☑単独作業は避けましょう

なるべく2人以上で作業し、時間を決めて声をかけあったり、異常がないか確認しあうようにしましょう。

☑20分おきに休憩＆水分補給をしましょう

涼しい日陰などで作業着を脱ぎ、体温を下げましょう。のどが渴いていなくても、20分おきに毎回コップ1~2杯異常を目安に水分補給をしましょう。



(営農推進班 後藤)

水稻新品種「なつほのか」の作付けが始まる！

【水稻新品種「なつほのか」】

大分県内において水稻の7割を占める品種「ヒノヒカリ」は、近年温暖化等の影響により特に平坦地において、充実不足や白末熟粒による品質低下が問題となっています。

そこで大分県は、「ヒノヒカリ」と比較して、高温に強い品種である「なつほのか」を推進しています。

1. 「なつほのか」とは

鹿児島県において、「にこまる」を親として育成された新しい品種です。大分県では、令和3年に奨励品種に採用しています。

日本穀物検定協会の発表している、令和4年産米食味ランキングにて、大分県産「なつほのか」が参考品種として特Aを獲得しました。

(1) なつほのかの特徴

(水田農業グループ、宇佐市)

ヒノヒカリと比較して、

- ① 出穂期は4日、成熟期は7日程度早い
- ② 穗長、穂幅は同程度、穂数はやや多い
- ③ 収量性はやや高い、大粒で千粒重は重い
- ④ 品質はやや優れ、食味は概ね同程度
- ⑤ 高温耐性に優れ、耐倒伏性は同程度

(2) 作付状況

大分県では、令和4年度から「なつほのか」を本格的に導入しています。令和5年度の作付見込面積は2,000haで、令和6年度には、さらなる普及拡大を目指し、県内作付面積3,000ha以上を目指しています。西部地区では、日田市を中心に令和5年度に約50ha作付けされており、同じ高温耐性品種である「つや姫」「にこまる」と併せて、この新品種「なつほのか」を推進していきます。



トビイロウンカ防除の徹底を！

九州北部地方は、平年よりも6日早く、5月29日に梅雨入りしました。

現時点では、県内でトビイロウンカの飛来は認められていません。

トビイロウンカは、梅雨前線に向かって吹く強い南西風にのって日本へ飛来するため、今後の飛来状況に注意する必要があります。

トビイロウンカの発生状況に注意し、本田防除により被害を抑えましょう。



(集落営農・水田畑地化班 阿南)

高温によるピーマンへの影響と対策について

日田は5月29日に梅雨入りを迎えました。例年より早い梅雨入りですが、梅雨の晴れ間は30℃を超える日が多くなっています。

高温によりピーマンの樹には大きいストレスがかかっており、様々な障害が発生しやすくなっています。夏場にピーマンに生じやすい障害の原因と対策をまとめました。

(1) 高温により想定される影響

| 名称 | 尻腐果 | 日焼け果 | ひび果 | 赤果 |
|---------|---------------------------|---------------|---|--|
| 症状 | | | | |
| 想定される原因 | ・高温、土壤水分の不足、窒素過多などによるCa欠乏 | ・土壤水分の不足、直射日光 | ・高温、直射日光 ・着果数が多いことによる肥大の遅れ ・果実内水分の急激な変化 | ・高温による種子数の減少等で果実肥大が悪くなる。 ・肥大遅れに伴う収穫遅れ |

(2) 対策

- ハウスの妻面の開放やサイドを可能な限り上げて、ハウス内温度を下げる。あわせて、遮光ネットの利用を検討する。
- 敷きわらの設置などにより、地温の上昇を防ぐ。
- 水不足にならないように、こまめにかん水する。
- 樹勢低下を防ぐために、M果の適期収穫を心がける。また、肥料不足にならないよう適宜追肥を行う。
- 病害虫の発生は樹勢を低下させるため、防除暦を参考に定期的な予防散布を行う。

(3) その他

- 急な雨水の入り込みを防ぐため、明渠等の維持・管理を行う。
- 腐敗果等の発生が増えてくる時期になるので、収穫に使用する道具はよく洗って使用する、またへたを拭かないなど調製作業等にも注意する。

(参考) 晴天日のかん水量目安（夏秋ピーマン栽培マニュアル（豊後大野版より））

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
|---------|---------|-----|---------|---------|---------|---------|-----|---------|
| t/10a/日 | 0.5~1.0 | 1.0 | 1.5~2.0 | 3.0~4.0 | 3.0~6.0 | 1.5~3.0 | 1.0 | 0.5~1.0 |

※夏期曇天時 0.7t/10a/日

※圃場の排水条件などを考慮して調整すること。

(園芸第一班 大塚)

いちご育苗管理について

R5 年産の育苗が本格化しました。今年は梅雨入りも早く病害発生のリスクが高まっています。
週一回の防除を目標に農薬散布を行ってください。

▼採苗に向けての管理▼

(1) 親株の管理

- ✓ 古葉や花房は一斉に除去して、同時に炭疽病防除を行う。
- ✓ 萎黄病や炭疽病が疑われる株は取り除く。
- ✓ 追肥を定期的に行い、ランナー切離しまで肥料切れさせないようにする。

(2) 採苗

- ✓ 万が一のために、苗はたくさん持っておいたほうが安心！！

《必要本数の目安》 株間 20cm : 7,000 本 / 10a 株間 25cm : 5,600 本 / 10a

- ✓ 採苗時期 「本葉 1.5~2枚程度の発根はじめの子苗を2週間程度でとる」が理想

(3) かん水管理 *ランナー先枯れに注意！！！

- ✓ 曇天が続いているので、過度のかん水は控える。
- ✓ 曇天日にかん水量を控えすぎてもランナー先枯れを起こすので天候や水分量を調整を。
*「4日連続の曇天の後の2日連続の晴天」などの天候で多発。

▼炭疽病対策ポイント▼

- ✓ 感染前散布の予防効果が高いため、降雨前の予防散布に心がける。
- ✓ 長雨や台風等の前後、下葉除去など株を傷つける作業後に重点的に防除を行う。
- ✓ ほとんどの薬剤の残効は7日程度なので週に1度（約7日間隔）薬剤散布を行う。
- ✓ 展着剤を加用する！
*ただしデランフロアブル、オーソサイド水和剤は薬害がでやすいため展着剤は加用しない
- ✓ 薬剤は、地際のクラウン周辺部に届くよう十分量を散布する。

■殺菌剤一覧■

| FRAC | 農薬名 | 保護殺菌 | 治療効果 | 備考 |
|------|--------------|------|------|-------------|
| M2 | キノンドーフロアブル | ○ | × | |
| M3 | アントラコール顆粒水和剤 | ○ | × | |
| M3 | ジマンダイセン水和剤 | ○ | × | |
| M4 | オーソサイド水和剤 | ○ | × | 薬害あり（高温時注意） |
| M7 | ベルクートフロアブル | ○ | × | |
| M9 | デランフロアブル | ○ | × | 薬害あり（高温時注意） |
| 12 | セイビアーフロアブル | ○ | △ | 本圃で使用可能 |
| 1,10 | ゲッター水和剤 | ○ | ○ | 本圃で使用可能 |
| 1,10 | ニマイバー水和剤 | ○ | ○ | 本圃で使用可能 |

農薬使用の際は、必ずラベルの内容を確認し、記載希釈倍数、使用液量等の遵守をお願いします！

（園芸第一班 安部）

みなさん、農薬は正しく使いましょう！

農薬を使う際の3か条を守りましょう

① ラベルの確認

●使い慣れた農薬でも必ずラベルを確認してから使用してください！

- ・適用作物や使用量、時期、回数、方法などが変更になることがあります。
- ・最終有効年月を過ぎた農薬は使わないようにしましょう。

② 周辺作物への飛散防止

●目的とする作物以外の作物に農薬が付着し、その作物から基準を超えて農薬が検出される場合がありますので、飛散防止に努めてください！

- ・農薬は無風、又は風の弱いときに散布しましょう。
- ・飛散しにくい剤型の農薬を使いましょう。

③ 農薬の使用履歴を正確に記帳

●以下の事項を記帳し、一定期間帳簿を保管してください！

- ア) 使用年月日、イ) 使用場所、ウ) 農作物名、エ) 農薬の名称、オ) 単位面積当たりの使用量または希釈倍数
- ・新たに帳簿をつくるのが難しい場合は、作業日誌やカレンダーに書き込むことがオススメです。

これも大事です！

●防除器具の洗浄を徹底しましょう

- ・使用後の噴霧器やタンク、ホースなどの器具は、洗い残しがないように念入りに洗ってください。
- ・以前使用した農薬が残っている散布器具を使用すると、その農薬が次に散布する作物に基準を超えて残留することがあります。

●農薬散布前に周辺へお知らせしましょう

- ・人や農作物等への被害を予防し、周囲からの苦情にならないために、時間に余裕を持ってお知らせしてください。

(営農推進班 山本)

令和5年度 狩猟免許試験のお知らせ

近年、鳥獣による農林作物被害が続いており大きな問題となっています。その一方で、狩猟者の減少・高齢化により捕獲対策の促進に支障が出てきています。

自分の田畠が、イノシシ等に荒らされている方をはじめ、狩猟に興味のある方はこの機会に狩猟免許を取得してみませんか？

【狩猟免許試験の開催】

(試験①)

令和5年 8月 5日（土）：第一種銃猟（試験会場：大分県日田総合庁舎）

令和5年 8月 6日（日）：わな猟（試験会場：大分県日田総合庁舎）

受付期間：令和5年7月14日（金）～令和5年7月25日（火）時間：9時～17時

(試験②)

令和5年 9月30日（土）：第一種・第二種銃猟（試験会場：大分県庁舎新館大会議室）

令和5年10月 1日（日）：網猟・わな猟（試験会場：大分県庁舎新館大会議室）

受付期間：令和5年9月11日（月）～令和5年9月20日（水）時間：9時～17時

(試験③)

令和5年12月16日（土）：わな猟（試験会場：大分県庁舎新館大会議室）

受付期間：令和5年11月22日（水）～令和5年12月5日（火）時間：9時～17時

【申請に要するもの】

1. 対象者・・・大分県内に住民登録をしている方で、令和5年度以降新たに狩猟を行う予定の方。

2. 申請書に添付するもの・・・狩猟免許申請書は、県振興局に備付けの用紙を使用する。

1) 写 真 1枚：写真は申請書ごとに添付する。

最近6ヶ月以内に撮影した無帽、正面、上三分身、無背景の縦3.0cm、横2.4cmの写真で、写真裏面に氏名及び撮影年月日を記載する。

2) 医師の診断書：3ヶ月以内に作成されたもの。又は、銃砲の所持許可を現に受けている場合は、その許可証の写し。

統合失調症、そううつ病（そう病及びうつ病を含む）及びてんかん（発作が再発する恐れがないもの、発作が再発しても意識障害がもたらされないもの及び発作が睡眠中に限り再発するものを除く）にかかっていないこと並びに麻薬、大麻、あへん及び覚せい剤の中毒者でないことを証明するもの。

3) 返信用封筒1通：長形3号（A4三つ折り、120mm×235mm）封筒に郵便切手（84円）を添付し、宛名を書いたもの（2種以上申請する場合も1通で可）。

4) 住民票（個人番号の記載されていないもの、もしくは省略されているもの）1通、又はマイナンバーカード住所記載面の写し

3. 手数料・・・県の政策により令和5年度は徴収しない。

4. 申請受付窓口・問い合わせ先 西部振興局 森林管理班

0973-22-2585

（森林管理班 丸山）

